

# 西江原 史跡顕彰會報

第 62 号

令和 2 年 7 月 30 日

会報第一号は昭和六十三年（一九八八年）三月二十九日発行

## 西江原史跡顕彰会 総会について

今年度は、四月二十九日（水）に予定をしておりますでしたが、二月に新型コロナウイルス感染が発生拡大し、緊急事態宣言も発令されて総会を開催することが出来ませんでした。

本年度に限り、総会未実施については総会資料を熟読いただき、会員のご承認をいただいた事として、総会資料を配布させていただきました。ご理解をいただきたいと思います。

西江原史跡顕彰会役員の方々には、事業報告、決算報告書、令和二年度事業計画案と会計予算案等を議題とし説明をいたします。

なお、「このたびの判断は会長・副会長・総務の九名で協議し、決定致しました。」

また、当日予定しておりました北条早雲公供養祭も中止いたしました。



## 「那須与一公追善法要並びに 袖神稻荷夏季大祭」について

今年度は令和二年八月二十二日に予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止します。

### 第七回

## 「西江原八十八ヶ所巡り」へのご案内

昨年度は台風の為中止となりましたが今年度は次のように予定しています。

大勢の皆様のご参加をお願い致します。

詳細については回覧でお知らせ致します。

### ○期 日

令和二年九月二十日（日）

### ○集 合

西江原公民館駐車場

### ○参加費

五百円（保険・飲み物等）

### ○コース

一番札所（法泉寺）から二十一  
番札所（正雲寺）まで都合で変  
更もあります。

※詳細については後日参加希望  
者を募ります。



備中伊勢氏の菩提寺 「長谷山法泉寺」

伊勢氏はなぜ長谷に造営したか

先納 いづみ

西江原町長谷にある法泉寺は、備中伊勢氏の菩提寺として永享二（一四三〇）年に、伊勢盛定（早雲の父）によって建てられた曹洞宗の寺である。

備中伊勢氏は、室町時代初め（十三〇〇年代半ば）頃にこの地に入ってきたようであるが、その所領は荏原郷・井原荘・笠岡村等であり、高越山城が居城であった。

当時の城というのは「山城」である。中世当時の合戦というのは騎馬戦が主力であったため、馬が登って来れないような高く急な山の上に城を築くほうが有利であった。高越城もこうした山城として一二八一年に築かれたものであり、石垣は無く曲輪を何段も連ね、水の無い空堀などが配置されていた。それは、山の地形を利用した軍事施設（戦時の防衛施設）として用いることを目的としたもので、山上に設けられた砦のような城にあわせて麓には居住用の館が設けられていたとされている。その姿は、我々のよく知っている信長以降の城とは全く違う姿である。

山上からの見晴らしは良く、四方八

方の様子を窺う事ができるため、河川・街道の様子を手にとるように観察できる。つまり、いざ戦となった時には敵が何処から来ようがいち早く見て取り、迎え撃つことができるのである。眼下の小田川は外堀代わりであったかもしれない。高越城とは、そういう城であった。

当時は、戦になると山城に立て籠もって敵を迎え撃つという戦闘様式が一般的であった。しかし、山上の城では長期居住にはむかない。何よりも水や食料が不足するため、戦闘を長く続けることは不可能である。

戦が常態化してくると、戦闘様式も変化してくる。

山城が落ちると次の山城へ移って戦いを続ける、ということをくり返してもうまくいかなない。そこで、平山城・平城が築かれるようになるまでの戦国時代には、方々に菩提寺という名のものと、城代わりの寺が築かれるようになるのである。

知識人であった備中伊勢氏も、やはり城代わりとなる菩提寺の建立を考え

た。水が十分に確保でき、食料の備蓄も可能である場所、何より情報が得やすく、他者にわかりにくい場所を所領の内に探し求め、そして、理想的な長谷という場所に辿り着いた。

寺には辿り着けない。廻り込まなければそのまま他の谷を北上することとなる。伊勢氏は、そういう地の利を生かしてなお有利に菩提寺の造営をした。

長谷は、東・西・北の三方を深い山に囲まれた南北に細長い谷であり、その一番奥に法泉寺を建立することにしたのである。

山陽道から法泉寺総門までの距離は直線で約一、三キロメートルと近いが、山陽道北には甲山があるため、法泉寺の姿は全く見えない。また、山陽道から北上しようとする時には、雄神川・長谷川を渡って廻り込まなければ法泉

また、総門をぐるままでには厚い土塀があり、内堀代わりの弁天池（当時は深さ三〜四メートル）、直角に曲がる鉤の手、中段から見上げる城郭の構えをなす石垣、駆け上がろうとすれば躓く石段などの構築をしたのである。もちろん、禅僧の知識・智慧を以って構築されたのであろう。

そして、たいせつに信仰していた備中伊勢氏の守り本尊の聖観音菩薩を本尊として納めたのである。

法泉寺の構えは当時のままであり、それにこそ建立当時の伊勢氏のことさま・思いを推し量ることができよう。



法泉寺

平成31年度 (2019) 令和元年度 事業報告と会計決算書

月日	行事	内 容	
4.10 (水)	役員会 (公民館)	早雲公供養祭・総会に向けて諸準備について 総会提出書類と春の研修旅行について	参加者19名
4.26 (金)	顕彰会総会 (西江原公民館)	顕彰会総会 午後7:00 開会挨拶 平成30年度事業報告並びに会計報告について・・・承認 平成31年度事業計画並びに予算案について・・・承認	参加者22名
5月/ 5.22 (水) 6.15 (土)	顕彰会費徴収 研修旅行 総務部打ち合わせ	5月末までにJA岡山西・井原北支店へ納入 (各地区担当理事) 大和ミュージアム (広島県呉市) 那須与一公追善法要実施と早雲没後500年記念事業について	参加者23名
7.19 (金)	役員会 (公民館)	与一公追善法要並びに袖神稲荷大祭について 西江原八十八ヶ所巡りについて	参加者19名
8.08 (木)	会報発行	西江原史跡顕彰会会報第60号 町内全戸配布	1600部印刷
8.17 (土)	与一公追善法要事前準備	職立て 小菅城址 進入路の草刈り作業	参加者24名
8.23 (金)	永祥寺へ集合	役員全員集合 境内庫裏清掃 祭壇飾り付け	参加者16名
8.24 (土)	那須与一公追善法要	与一公追善法要並びに袖神稲荷大祭 来賓19名、会員16名、御詠歌5名、民謡愛好会12名	参加者52名
9.17 (火)	総務役員会	お大師巡り役割分担を決める	
9.22 (日)	西江原八十八ヶ所巡り	第1番札所 (法泉寺) ~ 第21番正雲寺までウォーキング (はつらつ学園17名申込) 雨の為中止	
10.07 (月)	役員会 (公民館)	与一公追善法要並びに袖神稲荷大祭仮決算 西江原八十八ヶ所巡りの、反省、今後について	参加者15名
10.22 (月)	役員会 (公民館)	北条早雲公没後500年事業実施について 得脱稲荷様と境内の職について	参加者19名
11.22 (金)	法泉寺境内の掃除	境内の職立て、得脱稲荷職立て	参加者16名
11.30 (土)	北条早雲公没後500回忌 記念事業	北条早雲公没後500年記念事業 北条早雲幟り作成 得脱稲荷様のぼり作成 (奉納のぼり作成) 先納いづみ様による法泉寺に伝わる昔ばなし 来賓18名、会員18名、興学会3名、児童11名、会員18名 護持会員、他12名	参加者80名
2.25 (火)	会報発行	西江原史跡顕彰会会報第61号 町内全戸配布	1600部印刷
3.30 (月)	総務役員会	早雲公没後500年記念事業について反省 早雲公供養祭並びに史跡顕彰会総会について	参加者10名
<b>協賛行事 その他</b>			
10.19 (土)	西江原町興学会主催	ふるさと探検 研修先 明治池揚水施設 日芳橋碑 森和泉守館址 崇道神社 案内人 松本年寛 猪原完治 片山正樹 森兼繁基 特別史跡旧閑谷学校へ	参加者66名 音念池
11.29 (金)	市観光協会主催		参加者3名

収入の部

科目	予算額	収入済額	差引額	摘 要
1 会費	220,000	203,000	-17,000	1,000円×203人
2 負担金	580,000	184,000	-396,000	春季研修 呉市方面 8,000円×23人
3 補助金	20,000	20,000	0	井原市委託金 (小菅城址草刈) 20,000円
4 繰越金	487,000	487,711	711	前年度繰越金
5 雑収入	75,000	332,800	257,800	御芳志 (早雲没後500回忌) 103,000円 (研修旅行) 28,000円 御寄附 (得脱稲荷幟奉納) 200,000円 (ふるさと探検) 1,796円
合計	1,382,000	1,227,511	-154,489	貯金利息 4円

支出の部

科目	予算額	支出済額	差引額	摘 要
1 会議費	110,000	18,464	91,536	総会費 2,913円 役員会費 15,551円
2 研修費	0	0	0	0円
3 事業費	922,000	582,311	339,689	春季研修 呉市方面 190,493円 お大師めぐり 2,642円 早雲没後500年記念事業 389,176円
4 印刷費	160,000	152,600	7,400	会報印刷費 (第60号) 75,600円 会報印刷費 (第61号) 77,000円
5 施設費	100,000	0	100,000	
6 繰出金	20,000	20,000	0	小菅城址草刈委託料与一会計へ
7 雑費	30,000	18,219	11,781	早雲祭 5,000円 市観光協会費 3,000円 印刷、コピー代 471円 郵送料 328円 用紙等 9,420円
8 予備費	40,000	0	40,000	
合計	1,382,000	791,594	590,406	

収入合計	1,227,511
支出合計	791,594
差引残額 (次年度繰越額)	435,917

## 令和2年度 事業計画と会計予算書

月 日	行 事	内 容
4月29日(水)	早雲公供養祭 並びに顕彰会総会 (法泉寺にて)	早雲公供養祭並びに西江原史跡顕彰会総会は、コロナウイルス 感染予防の為、顕彰会役員のみで実施予定 令和元年度事業報告並びに会計報告、令和2年度事業計画(案) 並びに予算案と役員改選について その他
5月	会 費 徴 収	5月末までに各地区理事が集金の上 JA晴れの国岡山井原北支店へ 納入
7月	会 報 発 行	西江原史跡顕彰会会報第62号
7月	役 員 会 (公民館)	与一公追善法要・袖神稲荷神社夏季大祭について (袖神稲荷奉賛会共催)
8月	与 一 ま つ り	与一まつり実行委員会・袖神稲荷奉賛会と共催
9月27日(日)	お 大 師 め ぐ り	西江原四国88ヶ所巡礼 一番札所霊山寺(長谷山法泉寺境内)～二十一番札所大龍寺(正雲寺境内)
10月	役 員 会 (公民館)	与一公追善法要・袖神稲荷神社夏季大祭の決算報告(仮) その他
11月	研 修 旅 行	(予定)
令和2年2月	会 報 発 行	西江原史跡顕彰会会報 第63号 町内全戸配布
	協 賛 事 業 西江原興学会主催 そ の 他	ふるさと探検 顕彰会関連備品の整備 顕彰会関連施設の新設及び点検補修

## 収入の部

(単位 千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 会 費	210	220	-10	1,000円×210人
2 負担金	0	580	-580	秋季研修 8,000円×35人 お大師めぐり 500円×40人
3 補助金	20	20	0	小菅城址草刈(井原市委託金)
4 繰越金	435	487	-52	前年度繰越金
5 雑収入	35	75	-40	御芳志、貯金利息等
合 計	700	1,382	-682	

## 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 会議費	110	110	0	総 会 費 100,000円 役員会費 10,000円
2 事業費	0	922	-922	秋季研修 0円 お大師めぐり 0円
3 印刷費	200	160	40	会報印刷費(2回)
4 施設費	200	100	100	説明版等
5 繰出金	20	20	0	小菅城址草刈委託金 与一公追善法要会計へ
6 雑 費	70	30	40	早雲供養祭 30,000円 市観光協会費 3,000円 事務費等 37,000円
7 予備費	78	40	38	
合 計	678	1,382	-704	